

首都へ攻めきれず、撤退した後は残忍な光景が報道され、何時まで続くのか。桜が散り始め、季節は暖かく変わっていくが、かの人々へかける言葉なく・・・
3月23日のゼミは、「第4週ゼミの今後について：意見交換会」を行いました。第4週ゼミへの参加者が最近少なくなってきた、12月22日ゼミでは3名と最小人数になったこともあり、このままの形でゼミを続けていくことが出来るかどうか、話し合いの機会を持つことにしました。

話し合いの結果、以下を決めました：

今後も『資本論』3巻を続けていく：適時『資本論』に関連した論文等を取り上げる：開始時間を1時間早め午後5時半～8時までとし開始時間から直ちに報告を始める、ただし直前に他のゼミ予約の場合は午後6時からとする、なお現役世代へ問い合わせる：オンライン参加・報告も可能とする：基礎研究所内にオンライン参加を知らせ、参加を認める。

検討課題：第2週ゼミでも時間を早めるか、オンライン参加はどうか

意見の数々：『資本論』そのものでなく、関連する文献、特に「地代論」はこれから重要。通常、地代論は農業問題と言われるが、現代の資源等の問題に対処するには、鉱山地代・都市地代などが重要な論点となり、また「物質代謝」「気候変動」「気候正義」にも関連している。ゼミでの報告方法の変更提案：『資本論』3巻はこのゼミで3回目であり、その文章を詳しく報告するよりも報告者が興味ある論点を指摘し、現代の問題との接点を議論したい。4月27日ゼミの文献は佐々木隆治「資本主義の最終発展形態としての「レント資本主義」(神奈川大学評論99号、2021/11/30)です。

その後は、ウクライナ問題について活発な議論がおこなわれました。

出席は、小野さん、高島さん、川口さん、斎藤さん、竹内さん(Zoom参加)と高田の6名でした。

* 4月13日ゼミは、通常通り、午後6時半から9時です。

* 4月27日ゼミは、1時間早く、午後5時半から8時です。

* 3月23日ゼミは、このゼミ約45年間で初めてオンライン参加併用で行いました。画面を通してという制約はありますが、会場まで来られない方への参加方法として、第4週ゼミでは取り入れていきます。また、第2週ゼミでのオンライン参加を検討してはどうでしょうか、ご意見を

***** ゼミ日程 *****

4月13日(水)午後6時半～9時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

芦田文夫『資本に対抗する民主主義』I部2章 レーニン 報告・斎藤さん

4月27日(水)* 午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

佐々木隆治「資本主義の最終発展形態」「レント資本主義」報告・竹内さん

5月11日(水)午後6時半～9時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

芦田文夫『資本に対抗する民主主義』II部1章 市民社会論 報告者未定

その後 5/25, 6/8, 6/22, 7/13, 7/27 : アイクルの部屋

◇第三学科事務局/高田好章 : ytakada@kcn.ne.jp 090-8658-3755

HomePage: <http://ysweb.g.dgdg.jp/ytakada/kisoken/> Pass: kiso